

【子どもたちの 優しい言葉 素敵な発見 豊かな発想】

(あさがおを見ていた 1 年生)「わーアリがいる」「とってあげようか」「いいよ。かわいいから！」

(虫かごを持って登校してきた 2 年生)

「虫が飛び込んできたんだよ。きれいな羽でしょ！でも、すぐひっくり返っちゃうんだよ。」

(児童会のアンケート「学校の気になるところ」に答えていた 6 年生)「やっぱり職員室だよね」

(社会の授業「お米がたくさん売れるようにする工夫は？」で発言していた 5 年生)

「お米と一緒にぬか漬けを作って、セットにして売ればいいと思います」

「赤ちゃんが喜ぶパッケージにすればいいと思います。お母さんが買うと思います」

左の写真は、5 年生の「日常を十七音で 俳句を読み合おう」の授業です。子どもたちはクロームブック（一人 1 台端末）に全員分のコメントを打ち込んでいます。担任も打ち込んでいます。全員分を、という大変そうに感じるのですが、担任に聞くと慣れてくると 20 分程で打ち込めるようになるそうです。また、どんなコメントにしようかと困った時に友だちの書いたのを見ることができるので、それもよい手立てになっているそうです。

打ち込んだ後、自分の俳句にどんなコメントが来ているのも、すぐに見ることができます。子どもたちは楽しそうに打ち込んでいました。GIGA スクール構想のもと、学習の幅が広がってきています。



北小学校の正門前の道路にフラワーロードがあります。学校の子供たちと学校応援団の皆さんとで大切に育ててきました。9月になり、そろそろ夏花壇の終わりが近づき、まだまだ咲いている花と種ができて枯れてきた花が見られます。フラワーロードで花の世話をしていると地域の方から「きれいに咲いていますね」「いつも通る時に见ています」と声をかけていただきます。民生児童委員会の時に声をかけていただくこともあります。とても有難く嬉しく思っています。この写真を撮った時に通りかかった方に挨拶をすると「私は北小の卒業生で、私の頃は道が狭くて花壇もありませんでした。フラワーロードができてからいつも見えています。北小の誇りです。」と話してくださいました。10月になると、今度は冬から春にかけてのビオラやパンジーの準備が始まります。

※フラワーロードは、平成元年（34年前）に上田市政70周年記念「花のあるまちづくり推進事業」として整備されました。それに伴って道路の拡張が行われ、今のような花壇になりました。子どもたち・職員・学校応援団の皆さんで花づくりをしています。

